

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1439
施設名	葛飾高砂たいよう保育園
施設所在地	東京都葛飾区高砂7-15-11
法人名	社会福祉法人まあれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

形

<テーマの設定理由>

- ・身近な形に興味を持ち、発見や気づきを楽しむ
- ・「丸い」「四角い」「長い」「でこぼこしている」など形への気づきが遊びのさらなる発展に繋がると考えたため

2. 活動スケジュール

- ・日々保育の中でさまざまな形の玩具を活用していく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・足の感覚を養う組み替えステップの遊具
- ・形を自由自在に動かし遊べる玩具
- ・ハイハイの丘
- ・砂場用玩具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・組み替えステップでは「高い」「低い」「ななめ」「ぼこぼこ」などさまざまな形に対して「つるつる」「でこぼこ」「ザラザラ」など足から伝わる感覚を楽しむ。
- ・サーキット遊びを通して歩く・跨ぐ・ジャンプするなど様々な動きを経験しバランスや身体感覚に繋げていけるようにする。
- ・友だちとイメージを共有しながら作品を作ったり、形のおもしろさや表現する楽しさw味わう。
- ・形の組み合わせや繋げ方を工夫しながら立体構成を楽しむ。
- ・砂に触れ、握る・掘る・集めるなど感触を楽しみながら遊ぶ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・足からの感覚に不思議そうにする子どもや実際に手で触ろうとする子どもの姿があった。
- ・「どこが歩きやすかった?」「どこが気持ちよかった?」と聞くと子どもによってさまざまな答えがあり、おもしろさを感じた。
- ・デコボコや斜めになっているステップなど不安定な場所にも興味を持ち自分から挑戦しようとする姿が見られた。
- ・「〇〇つくろうよ!」など遊びを通して友だちを誘う姿が多く見られた。
- ・自由に繋げたり、外したりしながら形が変化する面白さを楽しむ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

設定の大切さを感じた。

- ・繰り返し遊んでいく中で「もっとこうしたい」という目的意識や探求心の高まりを感じた。
- ・最初は単純に繋げることを楽しんでいた子どもが徐々にバランスや構造を考えながら作る姿へと変化していった。